



# 市長との約束 2016

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

水道部長

中川 博

約束内容	工事の早期発注
達成目標	受託工事（13本）を除いた42本の工事のうち、特別豪雪・豪雪地帯が8割以上を占めており、これらの工事について第2四半期までに発注する。
達成度	<b>B 達成目標を下回る（50%～80%）★★☆☆</b>
達成状況	最終的に気候の影響を受ける特別豪雪・豪雪地帯の件数は31本となり、目標の第2四半期内に契約まで出来たのが22本（71%）で全発注とはならなかった。しかし、この間25回もの配水管漏水事故対応を行いながらの発注業務であったことや入札不調・中止なども考慮すると契約に起工を含め概ね目標通り（97%）となった。
今後の課題解決策	水道供給事業は、いつ突発的な事故が起きるかわからず常に的確な対応が求められている。今後も外因的要因が発生しても年度計画に影響のないよう前倒しの発注に努めていく。

約束内容	有収率の向上
達成目標	平成28年度末までに82%台に近づける。
達成度	<b>S 達成目標を上回る（100%を超える）★★★★</b>
達成状況	2月9日締めによる有収率は82.41%であり、年度末の目標値は82.0%を超える見込みである。
今後の課題解決策	今後も引き続き、漏水調査や更新事業を計画的に進め、配水のロスをなくよう努めていく。

約束内容	収納率の向上
達成目標	平成28年度の期末面談に数値の報告が可能となるように、10月調定に対する1月収納率を、昨年度の99.75%に対し、平成28年度は99.80%台に目標を置き進める。
達成度	<b>A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆</b>
達成状況	督促・催告・停止予告・停止のプロセスを踏む期間を考慮した1月段階の数値は99.75%と昨年度の目標値と同じ結果となり、現段階では今年度目標に僅かに届かなかったが、3月末にはほぼ近づく見込みである。
今後の課題解決策	水道料金の年間収納予定額は35億円ほどとなっているが、0.05%アップするには1,800千円の回収が必要となる。中々高い目標ではあるが、今後、年度末目標達成に委託業者と鋭意回収に努めていく。

約束内容	経営基盤の強化
達成目標	今年度決算において当年度純利益1億円以上を目標とする。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	1月末現在での当年度純利益は151,000千円程度と見込んでいる。
今後の課題 解決策	今後予想される厳しい経営の中で、平成36年度の料金改定を示しているが、改定の前の徹底した経営努力なくしては理解は得られないと考えるので、今後もコスト削減やダウンサイジング、広域的視点に立った検討を大崎水道事業連絡協議会とともに進めていきたい。